



2025 年 6 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社帝国ホテル
代表者名 代表取締役社長 風間 淳
(コード：9708、東証スタンダード市場)
問合せ先 総務部長 杉山 智昭
(TEL 03-3504-1111)

(訂正)「2025 年 3 月期決算説明資料」の一部訂正に関するお知らせ

2025 年 5 月 13 日に開示しました「2025 年 3 月期決算説明資料」の内容に一部誤りがありましたので、以下の通りお知らせいたします。

なお当社ウェブサイト (<https://www.imperialhotel.co.jp/financial>) には、訂正後の内容を反映した資料を掲載しております。

記

1. 訂正の理由

中長期経営計画 2036「サステナビリティ推進の各目標値と進捗」に記載の数値に誤りがあることが判明したため、訂正いたします。(該当ページ P20)

2. 訂正の内容

訂正箇所は赤字で示しております。

【訂正前】

中長期経営計画2036



サステナビリティ推進の各目標値と進捗

帝国ホテルはSDGs(持続可能な開発目標)を支援しています。



CO2排出量の削減

直営事業所におけるCO2排出量(Scope 1+2)を、2030年度までに(2013年度比)60%減、2050年度までに実質ゼロとする目標を掲げ、様々な施策を進めています。
さらなる省エネルギー活動の推進、再生可能エネルギーの導入を進めるとともに、再開発時の新ハードウェアへの最新技術導入により、環境負荷軽減に努めます。

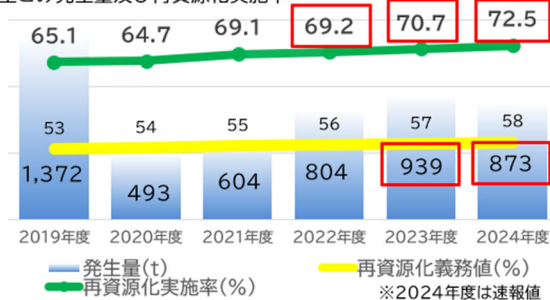
帝国ホテル 脱炭素ロードマップ



食品ロス削減

当社グループは「おいしく社会を変える」という考えのもと、「食品ロス削減」に力を入れています。食材仕入れの管理の徹底、調理時に食材を無駄なく使用する工夫など、各部門で取り組みを進めています。
なお食品リサイクル法に基づく生ごみ再資源化実施率(直営4事業所合計)は、義務値達成を維持しています。

生ごみ発生量及び再資源化実施率



株式会社帝国ホテル 2025年3月期決算説明資料 20

【訂正後】

中長期経営計画2036



サステナビリティ推進の各目標値と進捗

帝国ホテルはSDGs(持続可能な開発目標)を支援しています。



CO2排出量の削減

直営事業所におけるCO2排出量(Scope 1+2)を、2030年度までに(2013年度比)60%減、2050年度までに実質ゼロとする目標を掲げ、様々な施策を進めています。
さらなる省エネルギー活動の推進、再生可能エネルギーの導入を進めるとともに、再開発時の新ハードウェアへの最新技術導入により、環境負荷軽減に努めます。

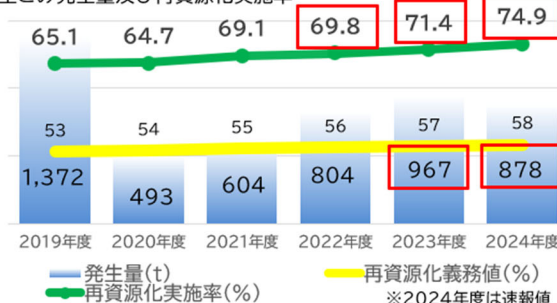
帝国ホテル 脱炭素ロードマップ



食品ロス削減

当社グループは「おいしく社会を変える」という考えのもと、「食品ロス削減」に力を入れています。食材仕入れの管理の徹底、調理時に食材を無駄なく使用する工夫など、各部門で取り組みを進めています。
なお食品リサイクル法に基づく生ごみ再資源化実施率(直営4事業所合計)は、義務値達成を維持しています。

生ごみ発生量及び再資源化実施率



株式会社帝国ホテル 2025年3月期決算説明資料 20

以上